

魅力ある商品とサービスを通じて 人・街・地球に 豊かな未来を創造します

自動販売機オペレーターとして

ジャパンビバレッジグループは1958年7月に創業し今年で60周年を迎えました。これまで、自動販売機オペレーター事業をはじめとし、企業内売店の運営、近年ではマルチドリンクサーバーやコーヒーマシンの展開などを行ってまいりました。創業以来順調に発展してまいりましたのは、ひとえに皆様のご愛顧、ご支援のたまものと深く感謝申し上げます。今後はこれまでの事業活動を活かし、より一層魅力ある商品と最高のサービスを提供できるよう事業展開をしてまいります。

お客様のニーズへの対応

お客様のニーズは日々変化しています。お客様の嗜好や飲料のトレンドへの対応は新商品の導入や季節に対応したラインナップ展開で対応しています。一例を申し上げますと、今年からマルチドリンクサーバーの商品にみそ汁を導入します。ボタン1つで簡単にみそ汁ができるので、職場やオフィスの休憩時に気軽にご利用いただけるものと思っております。

また、昨年から販売手数料の支払通知書を紙の案内からWebに切り替えを行っています。ペーパーレスになることでお客様の事務管理の軽減が図れ、さらに環境面では紙の使用量削減に繋げることができています。

資源循環の取組みでは、飲料空容器のリサイクルに取り組む「リサイクル・プラザJB」が今年で設立15年を迎えました。飲料を販売する事業者として、飲み終わった後の容器は責任をもってリサイクルすることでお客様に安心を提供いたします。

今後も事業の各場面にてお客様のニーズに対応できるよう取組んでまいります。

全国14社 121支店の事業展開

ジャパンビバレッジグループは全国14社121支店で事業展開をしています。お客様へのサービスは、各地域の特性やニーズに対応することが大切です。これらにスピーディかつ細やかに対応できるよう、今後も各社各支店で運営体制強化を図ってまいります。また、従業員の一人ひとりがお客様に明るく元気に対応し、満足いただけるサービスを提供することが重要だと考えています。そのため、昨年度から実施している働き方改革をさらに推進し、心身ともに健康でより一層仕事にやりがいを持てるよう取組んでまいります。

今後も末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 及川 剛

• 経営理念 •

私たちは、魅力ある商品と
最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、
喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

• モットー •

1. 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

2. 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

3. 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、
信頼と安全をお届けいたします。

4. 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しみません。

5. 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向け、“活き活き”とした魅力ある職場をつくります。

ジャパンビバレッジグループ環境方針

制定：平成12年 8月 1日
改訂：平成28年12月26日

基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

基本方針

我々は、自動販売機・リテール機による各種食品飲料の販売において、環境に配慮した「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業活動に伴う環境への負荷低減を目指し、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. ジャパンビバレッジグループの事業活動、商品、サービスに関わる影響を常に認識し、事業運営に即した環境目標を設定し、定期的に見直し環境汚染の防止に努めると共に継続的に改善します。
2. 環境関連法令及びジャパンビバレッジグループが同意した、その他の要求事項を順守します。
3. 環境に関する社内研修を繰り返し実施して、全従業員のレベルアップを図りお客様の環境保全活動の一助となるように努めます。
4. 重点的に取り組む内容については、以下のとおりとします。
 - ① 自動販売機・リテール機による環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ② 車輦に関わる環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ③ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）に努めます
 - ④ 事業所において水を大切に取扱い、自然界における水の健全な循環に貢献します
 - ⑤ 事業所におけるエネルギー使用の効率化に努めます
5. 環境保全を行なう地域・企業・団体等の活動に協力します。また利害関係者に対しても、環境保全活動の理解と協力を要請し、積極的な情報開示に努めます。

本環境方針は、組織で働くまたは組織のために働くすべての人々に、周知すると共に一般に開示します。